

# 中高生と大学生が協働して 新しいモノ・コトの創出に挑戦。

2024年8月21日から3日間の日程で、中学・高校・大学のコラボイベント「金城グッズをつくろう2024」を開催しました。会場は金城学院大学。参加した53名(中学生26名・高校生22名・大学生5名)は10組のグループに分かれ、新たな金城グッズの企画・提案に挑戦。真剣に、集中して課題に向き合い、アイデアをカタチにする作業に取り組みました。



ICTやAIの進化、グローバル化が加速し、将来の予測が困難な時代。そんな時代を生き抜くために必要な資質・能力とはなんでしょうか。経済産業省が2022年に発表した「未来人材ビジョン」によれば、次の社会を切り開く若い世代に対しては、基礎能力や高度な専門知識だけではなく、次の4つの能力を身につけて欲しいと挙げています。

- 1/ 常識や前提にとらわれず、  
ゼロからイチを生み出す能力
- 2/ 夢中を手放さず一つのことを  
掘り下げていく姿勢
- 3/ グローバルな社会課題を解決する意欲
- 4/ 多様性を受容し他者と協働する能力

金城グッズプロジェクトでは、「世代をこえて愛されるもの」というテーマに沿った金城グッズを、中学1年生から大学4年生までの多様な仲間たちが協働して企画・提案するというプロセスを体験しながら、今の社会や時代が必要としている力を育み、伸ばしていくことを目的に実施しました。

金城グッズプロ

ジェクトでは、「世代をこえて愛されるもの」というテーマに沿った金城グッズを、中学1年生から大学4年生までの多様な仲間たちが協働して企画・提案するというプロセスを体験しながら、今の社会や時代が必要としている力を育み、伸ばしていくことを目的に実施しました。

3日間という短期集中プログラムでしたが、参加者はグループワークを通して自由に意見を出し合い、協力しながらゴールに向かうことで、ひとりでは思いつかないようなアイデアを生み出し、カタチにしていく醍醐味を実感。同時に、コミュニケーションの大切さや、市場での差別化、価格設定なども含めた商品開発の難しさを学ぶ機会にもなり、参加したすべての生徒、学生の成長につながる学びの場となりました。今後は、金城サポートや生協などとも相談しながら、可能であればひとつでも商品化できればと考えています。

## 金城グッズプロジェクトの企画・運営を担った先生方



岩崎公弥子先生(大学)



柳瀬公代先生(高校)



福田順先生(中学)

## 金城グッズプロジェクトのサポーター



NIBOSHIを愛する現代芸術家  
NAMIKOさん

金城学院中高大を卒業後、現代芸術家として活動を始める。自身のアートレーベル『NIBOSHI&(にぼしと)』では海外、国内の水族館での個展にとどまらず、アパレルブランドなど様々な業界を巻き込み、『NIBOSHI』の新たな可能性を追求している。

中高大の  
たくさんの先生方が  
協力をして  
くださいました!



# 中高大の強力タッグで、魅力的な金城グッズをつくろう！

## 1日目 [8/21 Wed]

「あなたにとって金城はどんなところ？」をテーマに、チームのみんなで金城学院の魅力をとことん出し合いました。



グループで「自己紹介ワーク」。

NAMIKOさんによる「商品開発とは」の講義。



## 2日目 [8/22 Thu]



NAMIKOさんのアドバイスを受けながら、ゼロからイチを生み出す課題に挑戦。

「より精度の高いものをつくろう！」と、アイデアをカタチにする作業に全力投球。



ステキ！



試作品モデルが着々とでき上がってきます。



「世代をこえて愛されるものってなんだろう？」「人によって感じ方が違うよね」など、意見を出し合いながら企画を立てます。

## 3日目 [8/23 Fri]



仕上がったグッズの発表は展示スタイルで。わかりやすく、視覚的にも魅力的なディスプレイをしようと、みんな真剣です。



みんなで生み出したグッズの魅力、使い勝手などをわかりやすく説明するのも、今回の課題のひとつ。

## 喜びや達成感を仲間と共有した3日間。機会があれば、ぜひまた挑戦したい！

金城グッズプロジェクトに参加しようと思ったきっかけは、先輩でもあるNAMIKOさんと会ってお話を聞いたかったこと。商品開発にも興味がありました。私のグループは日傘とポーチを提案したのですが、アピールポイントは上品で可愛いフリルと白百合の刺繍。展示の場ではたくさんの方が「素敵！私もほしい！」と言ってくださり、チームのみんなで喜び合いました。

岩田萌花さん (大学2年生/環境デザイン学科)



私のグループ(中学生3人と高校生2人)は、金城の制服や聖書に出てくる羊や葡萄、百合などをモチーフにしたエコバッグを提案。絵を描くのが好きな私がデザイン画を描き、裁縫が得意な中学生がフェルトでケースを縫うなど、それぞれが得意なことを出しあってカタチにしました。ゴールに辿り着いた時は本当に嬉しく、一人では絶対にここまでできなかった、と思った瞬間でした。

伊藤あおいさん (高校1年生)

私は金城グッズが大好きなので、本当に楽しい3日間でした。難しかったのは、メンバーそれぞれに金城への思い、グッズへの思いがあるので、それをひとつに絞り込む作業。最終的にレインバッグカバーにしよう、と決めてからはアイデアがどんどん膨らんで、自分が最初に思い描いていたものより格段に良いグッズができました。金城の中高大生がタッグを組んだら、最強です！

岸部あいるさん (中学2年生)



マルチミラー、ペットボトルホルダー、ルームライト、レインバッグカバー、コンパクトミラー、ランジェリーボックス、日傘、ロケットペンダント、小物ケース、エコバッグ、多彩な金城グッズが提案されました。

